

農 用 地 利 用 集 積 等 促 進 計 画 書 (記 入 例)

捨印 捨印



農地中間管理権の設定を行う者(甲)	〒 350-0292	電話番号 (昼間連絡がつく番号)	フリガナ サカト タロウ	同意印	生年月日
	坂戸市千代田1-1-1	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	(氏名又は名称) 坂戸 太郎	印	昭和〇〇年〇〇月〇〇日
農地中間管理権の設定を受ける者(乙)	〒 361-0013 埼玉県行田市大字真名板1975番1	電話番号 (昼間連絡がつく番号) 048-558-3555	フリガナ コウエキシヤダンホウジンサイイタマケンノウリンコウシヤ リジチョウ (氏名又は名称) 公益社団法人埼玉県農林公社	同意印 印	/

※法人の場合は生年月日は不要です。

1. 各筆明細

別紙の通り

【賃料設定】 ① JA〇〇 彩のかがやき一等米概算金〇kg相当額

(D)設定する土地の(甲)以外の権限者等の有無 1. なし 2. あり(同意書等は別紙のとおり)

(記載注意)

- (1) この各筆明細は、権利の設定を行う者ごとに別筆とする。
- (2) (A)欄の「地域計画区域名」は、権利を設定する農地が地域計画内にある場合は公表されている区域名を記載する。
- (3) (B)欄の「面積」は登記記録の地積によるものとする。なお、1筆の一部について農地中間管理権が設定される場合には、面積に貸借する面積を記載の上、備考に「登記面積〇〇〇㎡のうち〇〇〇㎡」のように記載する。
- (4) (C)欄の「権利の種類」は、「賃貸借」と「使用貸借」のいずれかを記載する。
- (5) (C)欄の「内容」は、当該土地の利用目的(「水稻」「露地野菜」「施設野菜」「果樹」「花卉」等)を記載する。
- (6) (C)欄の「存続期間」は、「〇年」または「〇年〇ヶ月」と記載する。
- (7) (C)欄の「借賃」は、当該土地の1年分の総額と10aあたりの単価額を記載する。毎年の米価等により変動する場合、年額の欄に「支払時算出」、10aあたりの欄に農協名、品種名、等級及び数量の概算金(例:「JAほくさい彩のかがやき一等米概算金30kg相当額」)として記載する。10aあたりの欄に記入出来ない場合は、10aあたりの欄に「欄外参照」と記入、【賃料設定】欄に農協名、品種名、等級及び数量の概算金を記入することもできる(例:「欄外参照①」)。借賃が筆ごとに固定の場合は、10aあたりの欄には「固定借賃」と記載する。また、使用貸借の場合、どちらの欄にも「0」と記載する。
- (8) (C)欄の「借賃の支払方法」は、賃貸借の場合は「口座振込又は振替(12月末)」と記載する。

・この農用地利用集積等促進計画書において貸借する農地に、**甲以外の権利者がいる場合(共有や相続未了など)**は、「あり」に〇をつけてください。
 ・なお、相続が未登記で実際の相続人が1人だけの場合であっても、同意書の御提出をお願いします。

貸付意向申出書

令和 ○年 ○○月 ○○日

長 様
農業協同組合代表理事組合長 様
(住 所)
(氏 名)
(年 齢)
(電話番号)

坂戸市千代田 1 - 1 - 1
坂戸 太郎
○○ 歳
○○○-○○○-○○○○

1 農地中間管理機構が実施する農地中間管理事業で、以下の農地を貸し付けたいので申し出ます。

【農地の所在等】

別紙の通り

※「現在の耕作者」欄には、申出者が耕作している場合は、自作、申出者以外が耕作している場合には、その耕作者の氏名を記入してください。

※「備考（特記事項）」欄には、耕作するに当たって支障がある事項（水はけ、土質、形状、進入路、権利関係など）や農地の特徴について記入してください。

2 なお、農用地等の利用方法について以下の利用方法で使用する場合は、制約を付けたいので申し出ます。

項 目	制約のある場合は○	項 目	制約のある場合は○
永年性作物		ビニールハウス	農地の利用方法に制約を設ける場合に○を記入してください
植木		農業用施設	
その他制約を付ける項目（具体的に記載）			

※制約をつけたい（利用してほしくない）項目の欄に○印を記入

3 農業経営の意向について

選択肢	あてはまるものに○
農地中間管理事業に参加して耕作する	選択して○を記入してください
離農する	
農地を相続したが農業は行わない	
農業部門を減少（転換）する	
その他（具体的に記入：例 農地中間管理事業で貸す）	○

※事業に参加して耕作する場合、農地中間管理事業借受希望申込書の提出が必要です。

